

令和2年9月30日

令和3年度の財政投融资計画要求書

(機関名：世界レベルの研究基盤を構築するための機関)

1. 令和3年度の財政投融资計画要求額

(単位：億円、%)

区 分	令和3年度 要 求 額	令和2年度 計 画 額	対前年度比	
			金額	伸率
(1)財政融資	—	—	—	—
(2)産業投資	—	—	—	—
うち 出 資	—	—	—	—
うち 融 資	—	—	—	—
(3)政府保証	—	—	—	—
うち 国内債	—	—	—	—
うち 外 債	—	—	—	—
うち 外貨借入金	—	—	—	—
合 計	—	—	—	—

(注) 財政投融资の活用 of 要否も含め具体のスキームについて引き続き関係者と調整が必要であることから、要求額については現在検討中（事項要求）。

2. 財政投融资計画残高

(単位：億円、%)

区 分	令和3年度末 残高(見込)	令和2年度末 残高(見込)	対前年度比	
			金額	伸率
(1)財政融資	—	—	—	—
(2)産業投資	—	—	—	—
うち 出 資	—	—	—	—
うち 融 資	—	—	—	—
(3)政府保証	—	—	—	—
うち 国内債	—	—	—	—
うち 外 債	—	—	—	—
うち 外貨借入金	—	—	—	—
合 計	—	—	—	—

3. 事業計画及び資金計画

事業計画

(単位：億円)

区 分	令和3年度 要 求 額	令和2年度 計 画 額	増 減
事業計画の合計額	—	—	—
(内訳)	—	—	—
	—	—	—
	—	—	—

資金計画

(単位：億円)

区 分	令和3年度 要 求 額	令和2年度 計 画 額	増 減
事業計画実施に必要な資金の合計額	—	—	—
(財源)	—	—	—
財政投融资	—	—	—
財政融資	—	—	—
産業投資	—	—	—
政府保証	—	—	—
自己資金等	—	—	—
一般会計出資金	—	—	—
一般会計補給金	—	—	—
政府保証（5年未満）	—	—	—
財投機関債	—	—	—
貸付回収金	—	—	—
借入金等償還	—	—	—
その他	—	—	—

(注) 財政投融资の活用の可否も含め具体のスキームについて引き続き関係者と調整が必要であることから、要求額については現在検討中（事項要求）。

財政投融資を要求するに当たっての基本的考え方

(機関名：世界レベルの研究基盤を構築するための機関)

<官民の役割分担・リスク分担>

1. 政策目的の実現に必要な範囲内で、金融・資本市場に關与するに際し、官民の適切な役割分担がなされているか。

近年、諸外国では大きな経済危機や新型コロナウイルスの影響もあり、研究開発投資を増加するなど研究開発環境が変化している。我が国が世界競争に出遅れることなく存在感を示すためには、イノベーション・エコシステムの中核として役割を果たす研究大学への投資拡大が必要である。そのため、世界に比肩するレベルの研究開発を行う大学等の共用施設やデータ連携基盤、若手人材育成等を推進する。

こうした我が国の大学等の研究基盤を構築するための業務は、大規模かつ長期間にわたって対応する必要があることから、官民が連携して役割を担うことが必要である。

2. 官民が適切にリスク分担し、民間企業のモラルハザードを防止しつつ、適度な支援を行っているか。

世界に比肩するレベルの研究開発を行う大学等が実施する大規模かつ長期間の事業等を支援するにあたっては、官民が連携して役割を担うことが必要である。

<対象事業の重点化・効率化>

3. 「民間にできることは民間に委ねる」という民業補完性を確保する観点から、対象事業の重点化や効率化をどのように図っているか。

大学等の共用施設やデータ連携基盤の整備等のうち、規模が小さなものや産学連携施設のように利益が見込めるものについては、民間の資金やノウハウを活かした事業が行われている。一方で、世界に比肩するレベルの研究開発を行う大学等の研究開発基盤は大規模かつ長期的な支援が必要であるため、当該機関が実施することとする。

<財投計画の運用状況等の反映>

4. 財投編成におけるPDCAサイクルを強化する観点から、財投計画の運用状況を財政投融資の要求内容にどのように反映しているか。

令和3年度業務開始予定のため、該当なし。

<その他>

5. 上記以外の特記事項

具体のスキームについては、引き続き関係者と調整が必要であることから、財政投融資の活用の要否も含め、検討中。

成長戦略等に盛り込まれた事項について

(機関名：世界レベルの研究基盤を構築するための機関)

「経済財政運営と改革の基本方針2020」及び「成長戦略実行計画・成長戦略フォローアップ・令和2年度革新的事業活動に関する実行計画」に盛り込まれた事項に関する要求内容

世界に比肩するレベルの研究開発を行う大学等の共用施設やデータ連携基盤の整備、若手人材育成等を推進するため、大学改革の加速、既存の取組との整理、民間との連携等についての検討を踏まえ、世界に伍する規模のファンドを大学等の間で連携して創設し、その運用益を活用するなどにより、世界レベルの研究基盤を構築するための仕組みを実現する⁷⁴。

74 世界の主要大学のファンドは、ハーバード大（約4.5兆円）、イエール大（約3.3兆円）、スタンフォード大（約3.1兆円）など米国大学合計（約65兆円）。その他、ケンブリッジ大（約1.0兆円）、オックスフォード大（約8,200億円）。※各大学は2019年数値、米国大学合計は2017年数値（いずれも最新値）

財政投融資の要求に伴う政策評価（基本的事項）

（機関名：世界レベルの研究基盤を構築するための機関）

1. 政策的必要性

近年、諸外国では大きな経済危機や新型コロナウイルスの影響もあり、研究開発投資を増加させるなど研究開発環境が変化している。また、世界の主要大学はファンドなどの運用益も活用し、年間支出額を増加させている。

我が国がこうした世界の中で一角を占めていくためには、科学技術・イノベーションが非常に重要である。その中核を担う大学等には、毎年の大学運営経費を賄う運営費交付金や中期的な研究開発を賄う競争的資金等により支援がなされているが、より激しい競争環境の中で世界に伍していくためには、長期的・基盤的な視点で活動基盤を重点的に支援することが必要である。

以上のことから、世界に比肩するレベルの研究開発を行う大学等の共用施設やデータ連携基盤の整備、若手人材育成等を推進するため、大学改革の加速、既存の取組との整理、民間との連携等についての検討を踏まえ、世界に伍する規模のファンドを大学等の間で連携して創設し、その運用益を活用するなどにより、世界レベルの研究基盤を構築するための仕組みを実現する必要があるため、財政投融資の活用についても検討している。

2. 民業補完性

世界に比肩するレベルの研究開発を行う大学等の共用施設やデータ連携基盤の整備、若手人材育成等は、大規模・長期的かつ多額の資金が必要であるため、財政投融資の活用についても検討している。

3. 有効性

検討中

4. その他

検討中

元年度決算に対する評価

(機関名：世界レベルの研究基盤を構築するための機関)

1. 決算についての総合的な評価

令和3年度業務開始予定のため、該当なし。

2. 決算の状況

(1) 資産・負債・資本の状況

令和3年度業務開始予定のため、該当なし。

(2) 費用・収益の状況

令和3年度業務開始予定のため、該当なし。